

令和7年度

学生募集要項

医学部・保健医療学部
一般選抜



北海道公立大学法人
札幌医科大学

目 次

| | |
|---|----|
| I 建学の精神 理念 アドミッション・ポリシー | 1 |
| II 医学部 医学科 | |
| 1 募集人員 | 5 |
| 2 試験の方式及び出願の制限 | 5 |
| 3 出願資格 | 5 |
| 4 出願枠 | 6 |
| 5 出願方法 | 6 |
| 6 入学者の選抜方法 | 6 |
| 7 出願手続等 | 6 |
| 8 大学入学共通テストの受験を要する出題教科・科目等 | 10 |
| 9 第2次試験の実施教科・科目等 | 11 |
| 10 教科の配点 | 11 |
| 11 入試過去問題の活用 | 12 |
| 12 第2次試験の実施日等 | 12 |
| 13 学校推薦型選抜及び総合型選抜合格者の取扱い | 13 |
| III 保健医療学部 看護学科・理学療法学科・作業療法学科 | |
| 1 募集人員 | 14 |
| 2 試験の方式及び出願の制限 | 14 |
| 3 出願資格 | 14 |
| 4 入学者の選抜方法 | 14 |
| 5 出願手続等 | 15 |
| 6 大学入学共通テストの受験を要する出題教科・科目等 | 18 |
| 7 第2次試験の実施教科・科目等 | 21 |
| 8 教科の配点 | 21 |
| 9 第2次試験の実施日等 | 22 |
| 10 学校推薦型選抜及び総合型選抜合格者の取扱い | 22 |
| IV 身体等に障がいのある入学志願者との事前相談（医学部・保健医療学部共通） | |
| 1 身体等に障がいのある入学志願者との事前相談 | 23 |
| V 合格者の発表等（医学部・保健医療学部共通） | |
| 1 合格者の発表 両学部共通 | 24 |
| 2 入学手続 | 24 |
| 3 入学手続後の変更 | 25 |
| 4 合格者の追加 | 25 |
| 5 インターネットによる情報提供 | 25 |
| 6 入試成績の開示 | 26 |
| 7 個人情報の取扱い | 26 |
| 8 受験に当たっての留意事項 | 26 |
| 9 その他の留意事項 | 27 |
| 10 修学のための費用 | 27 |
| 11 札幌医科大学後援会について | 28 |
| 12 その他特記事項 | 28 |
| インターネット出願ガイド | 29 |
| 13 （予告）令和8年度 札幌医科大学医学部入学者選抜について | 35 |

出 願 用 書 類

綴 じ 込 み

・ 確約書（先進研修連携枠（ATOP-M））

※今年度から、インターネット出願を導入します。

入学願書は、インターネット出願サイトから印刷してください。

出願手続に関する詳細は本要項6頁「II 7 出願手続等」、15頁「III 5 出願手続等」、及び29頁「インターネット出願ガイド」をご確認ください。

試 験 日 程 等

| | 医 学 部 | 保 健 医 療 学 部 |
|---------------------|--|--------------|
| | 一 般 選 抜 | |
| | 前 期 日 程 | |
| インターネット出願 登録開始日時 | 令和7年1月20日(月)10時 | |
| 出願受付 | 令和7年1月27日(月)～令和7年2月5日(水)17時必着 ※出願最終日の受付は、17時必着とします。 | |
| 第1段階選抜 結果発表 | 令和7年2月12日(水) | |
| 受験票発行 | 令和7年2月12日(水)予定 | |
| 第2次試験日 | 令和7年2月25日(火) ～令和7年2月26日(水) | 令和7年2月25日(火) |
| 合格発表日 | 令和7年3月10日(月) | |
| 合格通知書発行 | 令和7年3月10日(月) | |
| 入学手続 | 令和7年3月10日(月)～令和7年3月15日(土)17時必着 ※最終日の受付は、17時必着とします。 | |

※ 追試験は実施しません。国や自治体の方針などにより取り扱いは変更することがあります。変更は本学ホームページでお知らせします。

I 建学の精神 理念 アドミッション・ポリシー

北海道が設立した北海道公立大学法人 札幌医科大学は、北海道の地域医療に貢献する医療人（医師、看護師、理学療法士、作業療法士）を育成するという北海道民の強い要請に応え、次のとおり建学の精神及び理念を掲げています。

【建学の精神】

- 一、進取の精神と自由闊達な気風
- 一、医学・医療の攻究と地域医療への貢献

【理 念】最高レベルの医科大学を目指します

人間性豊かな医療人の育成に努めます
道民の皆様に対する医療サービスの向上に邁進します
国際的・先端的な研究を進めます

【アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)】

札幌医科大学では、カリキュラムに沿った学修によってディプロマ・ポリシーに示す水準を満たすことができる学生を求めています。そのため、高い基礎学力、文化や社会に関する基礎知識、基本的なコミュニケーション能力と協調性、自己教育の意欲と習慣を備えた学生を受け入れます。

【医学部】

○求める学生像

札幌医科大学医学部は、北海道民の健康と医療を守り、地域や国際医療に貢献できる医師及び国際的・先端的の研究を通じて世界に貢献できる研究者を育てます。我々は命を尊ぶ心を持ち、病める人を救う情熱のある医師を育てていくために、以下に掲げる能力・資質を有する学生を求めます。

【知識・技能】

1. 高等学校等で学ぶ諸教科に関して高い基礎学力を有し、強い学習意欲を有する人
2. 国際的視野で考え行動し、科学的探究心と創造力を持って生涯にわたって学修に取り組む能力を持っている人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

1. 様々な事象に対し、関心と理解力をもつ人
2. 自分自身で得た知識・情報をもとに論理的思考を行うことができる人
3. コミュニケーションに必要な口頭・文章表現力を有する人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

1. 積極的に自ら物事に取り組む姿勢を有する人
2. 他者の考えの理解に努め、多様な属性の人々と協調して良好な関係を築くことができる人
3. 社会生活で守らなければならない法律や道徳に従い、良識ある行動ができる人

○入学までに学習しておくことが期待される内容

1. 高等学校で学ぶ諸教科に関する高い基礎学力
 - 1) 医学を学習するための基礎学力：生命科学としての医学を学習するにあたって、生物、化学、物理及び数学の基礎学力は必須です。さらに、医療と医学研究の場では、人との交流が基盤となります。それを支えるコミュニケーション能力を発揮するために、論理的に思考し、相手に伝えることのできる正確な日本語と国際的視野で考え行動するための英語の学力が重要です。
 - 2) 人類の文化や自然、社会に関する幅広い基礎知識：医学研究と医療の実践には、人文社会科学の視点から健康・疾病を理解することが必要です。そのために、自然科学のほか、人文社会科学など幅広い領域に関する基礎知識が不可欠です。
2. 自ら課題を探求し、問題を解決する学習習慣
医師には生涯にわたる自己研鑽が求められます。自ら課題を抽出し、問題点・疑問点を解決していく積極的な学習姿勢が必要です。

3. 自主的、協調的な態度と行動

チーム医療なしには医療は実践できません。医師は医療チームの一員として、他者と連携・協調して行動することが求められます。

4. 健康な生活を送るための基本的生活習慣

人々の健康を守り、病に立ち向かう医師となるための精神力と体力が必要です。まず自分の健康に心がけ、基本的な生活習慣を身につけていることが不可欠です。

○入学者選抜の基本方針

入学者に求める資質・能力について、下表に示す入学者選抜方法により評価・判定します。

※○及び◎は入学者選抜方法と学力の3要素との対応関係を示すものであり、配点の比重を示すものではありません。

| 入試区分 | 入試枠 | 入学者選抜方法 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等の能力 | 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
|------------|-----------------|------------|-------|-----------------|-----------------------|
| 一般選抜 | 一般枠 | 大学入学共通テスト | ◎ | ○ | |
| | | 個別学力検査 | ◎ | ○ | |
| | | 面接（個人） | ○ | ◎ | ◎ |
| | 先進研修連携枠（ATOP-M） | 大学入学共通テスト | ◎ | ○ | |
| | | 個別学力検査 | ◎ | ○ | |
| | | 面接（個人） | ○ | ◎ | ◎ |
| 学校推薦型選抜 | 先進研修連携枠（ATOP-M） | 調査書等 | ◎ | ○ | |
| | | 大学入学共通テスト | ◎ | ○ | |
| | | 総合問題 | ◎ | ○ | |
| | | 面接（個人） | ○ | ◎ | ◎ |
| | 特別枠 | 調査書等 | ◎ | ○ | ○ |
| | | 大学入学共通テスト | ◎ | ○ | |
| | | 総合問題 | ◎ | ○ | |
| | | 面接（個人及び集団） | ○ | ◎ | ◎ |
| | | 自己推薦書 | | ○ | ○ |
| | | | | | |
| 私費外国人留学生入試 | - | 日本留学試験 | ◎ | ◎ | |
| | | 個別学力検査 | ○ | ○ | |
| | | 面接（個人） | ○ | ◎ | ◎ |
| | | 出願書類 | | ○ | ◎ |

[保健医療学部]

○求める学生像

札幌医科大学保健医療学部は、札幌医科大学の建学の精神、理念に基づき、看護師・理学療法士・作業療法士に求められる実践能力やそれぞれの学問分野の発展に寄与する研究能力の基礎・基本を育むことを目的に、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）に基づく教育を行っています。このような教育を受けるための条件として、以下に掲げる能力・資質を具えた学生を受け入れます。

【知識・技能】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ知識・技能を幅広く、かつ高いレベルで有している

【思考力・判断力・表現力等の能力】

2. 社会の様々な課題について、知識や情報をもとに筋道を立てて論理的に思考し、自分の言葉で表現できる
3. 知的探求心をもって広く社会に目を向け、柔軟な発想で物ごとをとらえることができる

【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】

4. 良心と社会規範にしたがって良識ある行動をとることができる
5. 人々との交流を大切にし、常に温かな配慮をもって他者と接することができる
6. 自らの成長のために粘り強く物ごとに取り組むことができる

○入学までに学習しておくことが期待される内容

1. 高等学校で学ぶ諸教科に関する高い基礎学力
 - 1) 人類の文化や自然、社会に関する幅広い基礎学力
保健・医療・福祉は人間を対象に社会の中で営まれる実践です。そのために、文化や自然、社会に関する偏りのない基礎知識が不可欠です。
 - 2) 人々との交流を深め、論理的に思考し表現するための基礎学力
保健・医療・福祉の実践は人々との交流を基盤とします。また、物ごとを多面的に捉えて論理的に思考し、相手に伝えることのできる日本語の能力、国際的視野で考え行動するための外国語力が重要です。
2. 他者との連携・協働を必要とする課題に対し、誠実に取り組む姿勢
保健・医療・福祉の実践はチームで取り組みます。他者と連携・協働して何かに取り組んだ経験は専門的実践を学ぶ上での力となります。
3. 自らの疑問を解決し、知識を深めるための学習習慣
専門職には生涯にわたる自己研鑽が求められます。疑問を解決するために、また、知識を広げ深めるために、自ら進んで調べ学ぶ習慣を身につけておく必要があります。
4. 健康な生活を送るための基本的生活習慣
人々の健康と生活を守るためには、自分の健康に心がけ、しっかりとした基本的生活習慣を身につけていることが不可欠です。

○入学者選抜の基本方針

入学者に求める資質・能力について、下表に示す入学者選抜方法により評価・判定します。

※○及び◎は入学者選抜方法と学力の3要素との対応関係を示すものであり、配点の比重を示すものではありません。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等の能力 | 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
|------------|--------------|-------|-----------------|-----------------------|
| 一般選抜 | 大学入学共通テスト | ◎ | ○ | |
| | 面接（個人） | | ◎ | ○ |
| | 面接（集団） | | ○ | ◎ |
| | 出願書類・調査書 | ◎ | ○ | ○ |
| 学校推薦型選抜 | 大学入学共通テスト | ◎ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ◎ | ○ |
| | 面接（個人） | ○ | ◎ | ◎ |
| | 出願書類・志願理由書 | | ○ | ◎ |
| | 出願書類・調査書 | ◎ | | |
| | 出願書類・推薦理由書 | ○ | ○ | ◎ |
| 私費外国人留学生入試 | 日本留学試験 | ○ | ◎ | |
| | 面接（個人） | ◎ | ○ | ◎ |
| | 出願書類・履歴書 | ○ | | ○ |
| | 出願書類・志願理由等調書 | | ○ | ◎ |

II 医学部 医学科

1 募集人員

| 学部・学科 | | 募集人員 | | |
|-------|-----|------|------------|-----------------|
| | | 合計 | 一般選抜（前期日程） | |
| | | | 一般枠 | 先進研修連携枠（ATOP-M） |
| 医学部 | 医学科 | 75 | 20 | 55 |

※^{エイトップ エム}ATOP-M : Advanced education and training opportunities program for medical students

先進研修連携枠（ATOP-M）の趣旨と要件、入学後から卒後のキャリア形成については、本学ホームページ（医学部入試枠・卒後必修プログラム）ならびに大学案内冊子「LEAP」を参照してください。



2 試験の方式及び出願の制限

本学は「分離分割方式」（前期日程）により、個別学力検査等（以下「第2次試験」という。）を実施します。このため、本学の前期日程出願者は、他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）に属する「前期日程」に併願することができません。なお、本学の「前期日程」と他の国公立大学・学部の「後期日程」又は「公立大学中期日程」を併願することができます。

3 出願資格

(1) 一般枠

次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和7年度大学入学者選抜大学入学共通テスト（以下「大学入学共通テスト」という。）において、**本学が指定した出題教科・科目をすべて受験した者**

ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

ただし、同条第7号の規定により出願を希望する者は、事前に資格審査を受けなければならないが、一般選抜の出願受付開始日の5日前までに資格審査を申請する必要があります。

なお、申請をする場合は、出願の2か月前までに、本学事務局学務課入試係にお問い合わせください。

(2) 先進研修連携枠（ATOP-M）

上記「(1) 一般枠」に加え、医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修（以下「初期臨床研修」という。）を修了後、**所定のプログラム※（卒後の必修プログラム）に従事することを確約できる者**

※ 「**所定のプログラム**」とは、卒業後、札幌医科大学附属病院を含む臨床研修指定医療機関で初期臨床研修修了後、札幌医科大学医学部又は附属病院の各診療科に所属し、7年間、札幌医科大学及び本学の卒後の必修プログラムに関連する**国内外**の医療機関又は研究機関において医学・医療に従事するものです。

このプログラムでは、北海道の医学・医療において指導的・中核的役割を担える医師の育成を目指します。

いずれの出願枠も、出願者の出身地及び出身高等学校等所在地による制限はありません。

4 出願枠

(1) 一般枠

修学資金貸与制度はありません。

(2) 先進研修連携枠 (ATOP-M)

ア 修学資金貸与制度はありません。

イ 出願時に、一般選抜の出願書類に加え、初期臨床研修修了後、**所定のプログラム(卒後の必修プログラム)に従事する旨の入学志願者及びその保護者による確約書**を提出する必要があります。

なお、この確約書の提出がない場合は、先進研修連携枠 (ATOP-M) での出願を受け付けません。

ウ 先進研修連携枠の趣旨と要件、入学後から卒後のキャリア形成については、本学ウェブサイト(医学部入試枠・卒後必修プログラム <https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/10re8300000000i8.html>)並びに大学案内冊子「LEAP」及び「北海道の医療を担う医師育成プログラム 2024」を参照してください。



5 出願方法

出願時に「一般枠」及び「先進研修連携枠 (ATOP-M)」のいずれかを選択して出願します。

6 入学者の選抜方法

次のとおり2段階に分けて行います。

(1) 第1段階選抜

入学志願者が募集人員に対して本学が定める倍率(以下のとおり)を超えた場合、大学入学共通テストの成績により、原則として募集人員に以下の倍率を乗じた数の入学志願者を第1段階選抜の合格者とします。

(第1段階選抜を実施する場合の倍率)

| 学科 | 募集人員 | 倍率 |
|-------|------|----|
| 医 学 科 | 75名 | 5倍 |

(注) 第1段階選抜は、「一般枠」と「先進研修連携枠 (ATOP-M)」を一括して行います。

(2) 第2段階選抜

次の項目の成績及び結果を総合して合格者を決定します。

なお、調査書は面接の際の資料とします。

| 日程 | 一般枠・先進研修連携枠 (ATOP-M) |
|---------|---|
| 前 期 日 程 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テスト ・第2次試験(個別学力検査・個人面接) |

(注1) 合格者は、総合点の高い順に決定します。

(注2) 一般選抜の募集人員は、「一般枠」と「先進研修連携枠 (ATOP-M)」を合わせて75名です。「先進研修連携枠 (ATOP-M)」合格者が先に募集人員(55名)に達した場合、募集・選考状況により、他の合格者は「一般枠」と「先進研修連携枠 (ATOP-M)」を合わせて20名となり、「一般枠」合格者が募集人員に満たない場合があります。

(注3) 一般選抜の募集人員は、「学校推薦型選抜」の合格者数によって、増える場合があります。

7 出願手続等

(1) 出願方法

出願登録は、インターネット出願により行います。

本学ウェブサイト (<https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/10re8300000000g8.html>) に掲載のインターネット出願マニュアルを確認の上、インターネット出願サイトにアクセスし、出願登録を行ってください。

※ 出願手続は、①出願登録、②入学検定料の支払い、③出願書類の郵送提出により、出願に必要な書類が本学に到着して完了します。

①②③のいずれかが行われなかった場合は、出願を受け付けられません。

(2) 出願等の期間

| | |
|-----------------------|--|
| インターネット出願登録開始日時※ | 令和7年1月20日(月)10時 |
| 入学検定料入金開始日時※ | |
| 出願受付 (出願書類の郵送提出期間) | 令和7年1月27日(月)から令和7年2月5日(水)17時必着 最終日は17時必着【簡易書留・速達】 |

※ システムメンテナンスのため、令和7年1月29日(水)18時～翌日30日(木)6時までの間、インターネット出願サイトが停止します。停止期間中はサイトへのアクセスが出来ないため、出願登録及びサイトからの入学検定料の入金が出来ませんのでご注意ください。なおメンテナンス終了時刻は作業状況により前後することがあります。

(3) 出願書類の郵送方法

出願書類の提出は郵送に限ります。入学検定料の支払後に郵送してください。郵送の際は、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを市販の角形2号封筒(幅240mm×高さ332mm)に貼り、必要書類を入れて「簡易書留・速達」郵便とし、令和7年2月5日(水)17時までに必ず到着するように発送してください。

出願期間後に到着した出願書類は、受理しません。また、直接持参しても受理できません。郵便事情を考慮し、余裕を持って発送してください。

(4) 送付先

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目 札幌医科大学事務局学務課入試係
電話011-611-2111(内線21830・21840)

(5) 出願資格の確認

出願に当たっては、出願する学部・学科で課した大学入学共通テストの出題教科・科目を実際に受験しているかどうか等、出願資格を満たしていることを確認してください。

(6) 出願書類等

出願書類の提出に当たっては、**本学所定の様式**を使用してください。出願書類のうち、「エ確約書」については、募集要項に綴じ込みの用紙または本学ホームページに掲載している様式のいずれかをご使用ください。

なお、**ダウンロードした様式はA4サイズで印刷し、罫線幅等の変更はしないでください**。変更された様式による提出は無効といたします。

自筆記入が必要な書類は必ず**ボールペン等の黒インクを使用してください**。消せるボールペンの使用は**禁止**します。

| 出願書類等 | 摘要 |
|--------------------|---|
| ア 入学願書 | <p>インターネット出願サイトから、出願登録を行ってください。</p> <p>入力の際は、画面の指示、インターネット出願ガイド、作成例を確認の上、必要事項を漏れなく入力してください。</p> <p>写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身(胸から上)、脱帽、背景無地、正面向きのカラー写真(縦横比4:3)の10MB以内JPEGファイルをインターネット出願サイトにアップロードしてください。</p> <p>上記登録後、入学願書をダウンロードし、A4サイズの用紙にカラー印刷してください。</p> <p>「令和7共通テスト成績請求票前国公立前期日程用」の原本を入学願書の所定欄に貼ってください。(貼付漏れや指定以外の請求票を貼った場合は、受理しません)。</p> |
| イ 入学検定料 17,000円 | <p>インターネット出願サイトより、入学検定料の支払い方法を選択し、それぞれの手順に従い、入学検定料を支払ってください。</p> <p>※支払い方法は、クレジットカード払い、PayPay払いまたはコンビニエンスストア払いのいずれかにより行います。事務手数料は出願者負担となります。</p> <p>※支払後に受け取るお客様控等は、本人控として大切に保管してください。</p> <p>(注) 入学検定料の返還請求</p> <p>入学検定料の返還請求は、以下の場合のみ受け付けます。それ以外の場合は、いかなる理由があっても納付済の入学検定料は返還しません。</p> <p>1 入学検定料返還請求ができる場合</p> <p>(1) 第1段階選抜の結果、不合格となった場合(13,000円を返還します。)</p> <p>(2) 大学入学共通テストの受験科目が不足しているため、出願資格がないことが判明した場合(13,000円を返還します。)</p> <p>(3) 入学検定料を納入したが、入学願書を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合</p> <p>(4) 入学検定料を誤って二重に納入した場合</p> <p>2 返還請求方法について</p> <p>上記(1)の場合・・・第1段階選抜の結果発表後、対象者に返還手続に必要な書類を送付します。</p> <p>上記(2)の場合・・・出願無資格者である旨を通知する際、返還手続に必要な書類を送付します。</p> <p>上記(3)及び(4)の場合・・・本学ホームページに必要書類や請求方法等の詳細を掲載します。</p> <p>なお、返還請求の際、検定料を支払ったことを証明できる書類が必要になりますので、大切に保管してください。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>ウ 調査書等</p> | <p>高等学校長又は中等教育学校長等が文部科学省の定めた様式により作成し、厳封したものを提出してください。</p> <p>ただし、調査書が得られない場合には、卒業証明書に加えて厳封した成績証明書又は単位修得証明書等を提出してください。</p> <p>なお、「3出願資格の(1)のイ、ウ」により調査書を提出できない者は、次の書類を提出してください。</p> <p>(ア) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定の合格者等は、合格証明書及び厳封した合格成績証明書。ただし、高等学校又は中等教育学校を中途退学した者で、在学中に単位を取得している教科・科目がある場合は、当該教科・科目に係る高等学校又は中等教育学校の成績証明書又は調査書(学校長等が作成し、厳封したものをあわせて提出してください。</p> <p>(イ) その他の者は、修了証明書(資格証明書)及び成績証明書</p> <p>※出願書類確認後に、高校からの「調査書提出不可」の証明を求める場合があります。</p> |
| <p>エ 確約書 {先進研修連携枠 (ATOP-M)のみ}</p> | <p>必ず自筆により、記入してください。</p> <p>ダウンロードした様式を使用する場合は、A4サイズで印刷し、罫線幅等の変更はしないでください。変更された様式による提出は無効といたします。</p> |

(注) 高等学校等コードを記入する出願書類は、「令和7年度大学入学者選抜大学入学共通テスト受験案内」60頁～77頁を参照して記入してください。

(7) その他

- ア 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- イ 出願書類は、受理した後はいかなる理由があっても返還しません。
- ウ 入学願書の志願者氏名と調査書等の氏名が異なる場合は、同一人であることを証明できる書類(戸籍抄本等)を必ず添付してください。
- エ その他、本人確認のために必要な書類の提出を求める場合があります。
- オ 本学に入学手続きを完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学・学部へ入学手続きを行うことはできません。
- カ 受験手続において虚偽又は重大な不備があった場合は、入学後であっても入学許可を取消すことがあります。

8 大学入学共通テストの受験を要する出題教科・科目等

(1) 一般枠・先進研修連携枠 (ATOP-M) (6出題教科8出題科目)

| 出題教科 | 出題科目 | 出題科目等の選択方法 |
|-------------|---|---|
| 国語 | 『国語』 | 必須 |
| 地理歴史・ 公民 | 『歴史総合, 世界史探究』『歴史総合, 日本史探究』『地理総合, 地理探究』 『地理総合／歴史総合／公共(2出題 範囲を選択)』『公共, 倫理』『公共, 政 治・経済』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経 済』『旧倫理, 旧政治・経済』 | 左記の出題科目から1出題科目を選択(注1) |
| 数学 | 『数学Ⅰ, 数学A』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅰ・旧数学A』 | 必須 |
| | 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』(注2) (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』(注3) | 必須 左記の出題科目から1出題科目を選択(注3) |
| 理科 | 『物理』『化学』『生物』 | 左記の3出題科目から2出題科目を選択 |
| 外国語 | 『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』 | 左記の5出題科目から1出題科目を選択 (英語はリスニングの成績も判定の対象とします) |
| 情報 | 『情報Ⅰ』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧情報』 | 必須 |

(注1) 地理歴史・公民から2出題科目を受験している場合は、第1解答科目を合否判定の資料として用います。第1解答科目で本学が指定した科目を受験しなかった場合には、たとえ第2解答科目で本学が指定した科目を受験した場合でも、地理歴史・公民を受験しなかったものとみなします。なお、地理歴史・公民における2出題科目の選択方法は、文部科学省の定めに倣います。

(注2) 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』の出題範囲のうち「数学B」及び「数学C」は「数学B」の2項目の内容(数列, 統計的な推測)及び「数学C」の2項目の内容(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

(注3) 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』を選択することができる者は、高等学校又は中等教育学校でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了者に限ります。

9 第2次試験の実施教科・科目等

(1) 一般枠・先進研修連携枠 (ATOP-M)

| 日程 | 教科 | 科目 | 科目等の選択法 |
|--------------|-------|--|----------------------------|
| 前期日程 (注5) | 数 学 | 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」 「数学A」「数学B」「数学C」(注1) | 必須 |
| | 理 科 | 「物理」「物理基礎」(注2) | 左記3種類の組み合わせから 2種類選択(必須) |
| | | 「化学」「化学基礎」(注3) | |
| | | 「生物」「生物基礎」(注4) | |
| | 外 国 語 | 『英語』 「英語コミュニケーションⅠ」 「英語コミュニケーションⅡ」 「英語コミュニケーションⅢ」 「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」 | 必須 |
| 面接(個人) | | 必須 | |

(注1) 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」は全範囲を出題範囲とします。

「数学B」は「数列」を出題範囲とします。

「数学C」は「ベクトル」「複素数平面」「平面上の曲線」を出題範囲とします。

(注2) 「物理」「物理基礎」は全範囲を出題範囲とします。

(注3) 「化学」「化学基礎」は全範囲を出題範囲とします。

(注4) 「生物」「生物基礎」は全範囲を出題範囲とします。

(注5) 数学・理科・外国語・面接の全てを受験しなかった者は、合格者にはなりません。なお、理科は2科目の受験が必要です。

10 教科の配点

(1) 第1段階選抜に用いる大学入学共通テストの教科の配点

ア 一般枠・先進研修連携枠 (ATOP-M)

| 学科 | 国語 | 地理歴史 ・公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 情報 | 計 |
|-------|-----|-------------|-----|-----|------|-----|-------|
| 医 学 科 | 200 | 100 | 200 | 200 | 200※ | 100 | 1,000 |

※ 英語の場合 リーディング100点+リスニング100点=200点とします。

ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を2倍します。

(2) 第2段階選抜の配点

ア 一般枠・先進研修連携枠 (ATOP-M)

| 日程 | 試験区分 | 国語 | 地理 歴史 ・公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 情報 | 面接 | 計 | 総合点 |
|----------|---------------|-----|-----------------|-----|-----|-----|----|-----|-----|-------|
| 前期 日程 | 大学入学 共通テスト | 150 | 50 | 150 | 200 | 150 | 50 | — | 750 | 1,550 |
| | 第2次 試験 | — | — | 200 | 200 | 200 | — | 200 | 800 | |

(注) 面接等により医療人となるための適性を欠くと判断された場合は、総合点の成績に関わらず、不合格になる場合があります。

11 入試過去問題の活用

ア 本学は、アドミッション・ポリシーを実現するため、必要な範囲において、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

イ 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。

ウ 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次の URL にて公表しています。 <https://www.nyushikakomon.jp>

12 第2次試験の実施日等

(1) 日程

| 学部 | 試験日 | 教科等 | 実施時間 (予定) |
|-----|-------------------|--------|----------------|
| 医学部 | 令和7年2月25日(火) (注1) | 外国語 | 9:00～10:20 |
| | | 数 学 | 11:00～12:40 |
| | | 理 科 | 14:00～16:00 |
| | 令和7年2月26日(水) (注2) | 面接(個人) | 受験票に記載して通知します。 |

(注1) 令和7年2月25日(火)の集合時間は、午前8:00～午前8:40 (予定) です。

(注2) 面接は、受験者を午前(9:00～12:00)、午後(13:00～17:00頃)に分けて実施しますので、集合時間は次のいずれかの予定です。

午前の場合 8:00～ 8:40

午後の場合 12:00～12:40

なお、**受験者個人の試験開始時刻及び終了時刻は未定**です。

(2) 第2次試験の当日持参する物

ア 札幌医科大学医学部受験票 **(各自でインターネット出願サイトから印刷して持参してください)**

イ 大学入学共通テスト受験票

※ ア、イは、入学手続の際にも必要となるため、紛失しないように注意してください。

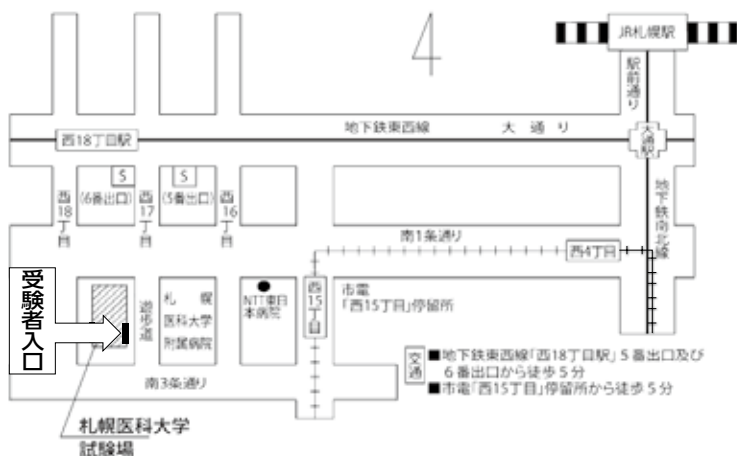
ウ 黒鉛筆(シャープペンシル可)・消しゴム・鉛筆削り

(3) 試験場

札幌医科大学教育研究棟 札幌市中央区南1条西17丁目
教育研究棟東側玄関より入り指示に従ってください。

※ 受験者入口は変更することがありますのでご注意ください。

受験票交付時のお知らせや、当日の案内表示等をご確認ください。



(注) **試験場の下見は玄関前までとし、入場はできません。**

最終頁、札幌医科大学建物配置図も参照してください。

13 学校推薦型選抜及び総合型選抜合格者の取扱い

本学の学校推薦型選抜並びに他の国公立大学・学部/学科の学校推薦型選抜及び総合型選抜の合格者は、本学の第2次試験を受験しても合格者となることはできません。

III 保健医療学部 看護学科・理学療法学科・作業療法学科

1 募集人員

| 学部・学科 | | 募集人員 |
|--------|--------|------------|
| | | 一般選抜（前期日程） |
| 保健医療学部 | 看護学科 | 40 |
| | 理学療法学科 | 16 |
| | 作業療法学科 | 16 |
| | 計 | 72 |

（注）学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員数が一般選抜の募集人員に加わります。

2 試験の方式及び出願の制限

本学は「分離分割方式」（前期日程）により、個別学力検査等（以下「第2次試験」という。）を実施します。このため、本学の前期日程出願者は、他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）に属する「前期日程」に併願することができません。

なお、本学の「前期日程」と他の国公立大学・学部の「後期日程」又は「公立大学中期日程」を併願することができます。

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和7年度大学入学者選抜大学入学共通テスト（以下「大学入学共通テスト」という。）において、**本学が指定した出題教科・科目をすべて受験した者**

ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

ただし、同条第7号の規定により出願を希望する者は、事前に資格審査を受けなければならない。一般選抜の出願受付開始日の5日前までに資格審査を申請する必要があります。

なお、申請をする場合は、出願の2か月前までに、本学事務局学務課入試係にお問い合わせください。

4 入学者の選抜方法

次のとおり2段階に分けて行います。

(1) 第1段階選抜

入学志願者が募集人員に対して本学が定める倍率（以下のとおり）を超えた場合、大学入学共通テストの成績により、原則として募集人員に以下の倍率を乗じた数の入学志願者を第1段階選抜の合格者とします。

（第1段階選抜を実施する場合の倍率）

| 学科 | 募集人員 | 倍率 |
|--------|------|----|
| 看護学科 | 40名 | 3倍 |
| 理学療法学科 | 16名 | 3倍 |
| 作業療法学科 | 16名 | 3倍 |

(2) 第2段階選抜

次の項目の成績及び結果を総合して合格者を決定します。なお、調査書は面接の際の資料とします。

| | |
|------|--|
| 日程 | 看護学科・理学療法学科・作業療法学科 |
| 前期日程 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テスト ・第2次試験（個人及び集団面接） |

5 出願手続等

(1) 出願方法

出願手続は、インターネット出願により行います。

本学ウェブサイト(<https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/10re8300000000g8.html>)に掲載のインターネット出願マニュアルを確認の上、インターネット出願サイトにアクセスし、出願登録を行ってください。

※ 出願手続は、①出願登録、②入学検定料の支払い、③出願書類の郵送提出、により出願に必要な書類が本学に到着して完了します。

①②③のいずれかが行われなかった場合は、出願を受け付けられません。

(2) 出願等の期間

| | |
|-----------------------|--|
| インターネット出願登録開始日時※ | 令和7年1月20日(月)10時 |
| 入学検定料入金開始日時※ | |
| 出願受付 (出願書類の郵送提出期間) | 令和7年1月27日(月)から令和7年2月5日(水)17時必着 最終日は17時必着【簡易書留・速達】 |

※ システムメンテナンスのため、令和7年1月29日(水)18時～翌日30日(木)6時までの間、インターネット出願サイトが停止します。停止期間中はサイトへのアクセスが出来ないため、出願登録及びサイトからの入学検定料の入金が出来ませんのでご注意ください。なおメンテナンス終了時刻は作業状況により前後することがあります。

(3) 出願書類の郵送方法

出願書類の提出は郵送に限ります。入学検定料の支払後に郵送してください。郵送の際は、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを市販の角形2号封筒（幅240mm×高さ332mm）に貼り、必要書類を入れて「簡易書留・速達」郵便とし、令和7年2月5日(水)17時までに必ず到着するように発送してください。

出願期間後に到着した出願書類は、受理しません。また、直接持参しても受理できません。郵便事情を考慮し、余裕を持って発送してください。

(4) 送付先

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目 札幌医科大学事務局学務課入試係
電話011-611-2111(内線21830・21840)

(5) 出願資格の確認

出願に当たっては、出願する学部・学科で課した大学入学共通テストの出題教科・科目を実際に受験しているかどうか等、出願資格を満たしていることを確認してください。

(6) 出願書類等

出願書類の提出に当たっては、**本学所定の様式**を使用してください。記入が必要な書類は必ず**ボールペン等の黒インク**を使用してください。消せるボールペンの使用は禁止します。

| 出願書類等 | 摘要 |
|--------------------|--|
| ア 入学願書 | <p>インターネット出願サイトから、出願登録を行ってください。</p> <p>入力の際は、画面の指示、インターネット出願ガイド、作成例を確認の上、必要事項をもれなく入力してください。</p> <p>写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身(胸から上)、脱帽、背景無地、正面向きのカラー写真(縦横比4:3)の10MB以内JPEGファイルをインターネット出願サイトにアップロードしてください。</p> <p>上記登録後、入学願書をダウンロードし、A4サイズ用の紙にカラー印刷してください。</p> <p>「令和7共通テスト成績請求票 前 国公立前期日程用」の原本を入学願書の所定欄に貼ってください(貼付漏れや指定以外の請求票を貼った場合は、受理しません)。</p> |
| イ 入学検定料 17,000円 | <p>インターネット出願サイトより、入学検定料の支払い方法を選択し、それぞれの手順に従い、入学検定料を支払ってください。</p> <p>※支払い方法は、クレジットカード払い、PayPay払い及びコンビニエンスストア払いのいずれかにより行います。事務手数料は出願者負担となります。</p> <p>※支払後に受け取るお客様控等は、本人控として大切に保管してください。</p> <p>(注) 入学検定料の返還請求</p> <p>入学検定料の返還請求は、以下の場合のみ受け付けます。それ以外の場合は、いかなる理由があっても納付済の入学検定料は返還しません。</p> <p>1 入学検定料返還請求ができる場合</p> <p>(1) 第1段階選抜の結果、不合格となった場合(13,000円を返還します。)</p> <p>(2) 大学入学共通テストの受験科目が不足しているため、出願資格がないことが判明した場合(13,000円を返還します。)</p> <p>(3) 入学検定料を納入したが、入学願書を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合</p> <p>(4) 入学検定料を誤って二重に納入した場合</p> <p>2 返還請求方法について</p> <p>上記(1)の場合・・・第1段階選抜の結果を発表後、対象者に返還手続に必要な書類を送付します。</p> <p>上記(2)の場合・・・出願無資格者である旨を通知する際、返還手続に必要な書類を送付します。</p> <p>上記(3)及び(4)の場合・・・本学ホームページに必要な書類や請求方法等の詳細を掲載します。</p> <p>なお、返還請求の際、検定料を支払ったことを証明できる書類が必要になりますので、大切に保管してください。</p> |

| | |
|--------|--|
| ウ 調査書等 | <p>高等学校長又は中等教育学校長等が文部科学省の定めた様式により作成し、厳封したものを提出してください。</p> <p>ただし、調査書が得られない場合には、卒業証明書に加えて厳封した成績証明書又は単位修得証明書等を提出してください。</p> <p>なお、「3 出願資格のイ、ウ」により調査書を提出できない者は、次の書類を提出してください。</p> <p>(ア) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定の合格者等は、合格証明書及び厳封した合格成績証明書。</p> <p>ただし、高等学校又は中等教育学校を中途退学した者で、在学中に単位を取得している教科・科目がある場合は、当該教科・科目に係る高等学校又は中等教育学校の成績証明書又は調査書(学校長等が作成し、厳封したもの)をあわせて提出してください。</p> <p>(イ) その他の者は、修了証明書(資格証明書)及び成績証明書</p> <p>※出願書類確認後に、高校からの「調査書提出不可」の証明を求める場合があります。</p> |
|--------|--|

(注) 高等学校等コードを記入する出願書類は、「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験案内」60頁～77頁を参照して記入してください。

(7) その他

- ア 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- イ 出願書類は、受理した後はいかなる理由があっても返還しません。
- ウ 入学願書の志願者氏名と調査書等の氏名が異なる場合は、同一人であることを証明できる書類(戸籍抄本等)を必ず添付してください。
- エ その他、本人確認のために必要な書類の提出を求める場合があります。
- オ 本学に入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学・学部へ入学手続を行うことはできません。
- カ 受験手続において虚偽又は重大な不備があった場合は、入学後であっても入学許可を取消すことがあります。

6 大学入学共通テストの受験を要する出題教科・科目等

(1) 看護学科 6出題教科8出題科目

| 出題教科 | 出題科目 | 出題科目等の選択方法 | |
|-----------------|---|---|---|
| 国語 | 『国語』 | 必須 | |
| 数学 | 『数学Ⅰ』『数学Ⅰ, 数学A』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ・旧数学A』 | 必須 左記2出題科目から1出題科目を選択 | |
| | 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』(注1) (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅱ』『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』(注2) | 必須 旧教育課程履修者は左記4出題科目から1出題科目を選択 | |
| 外国語 | 『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』 | 左記5出題科目から1出題科目選択 (英語はリスニングの成績も判定の対象とします) | |
| 地理歴史・ 公民(注3) | 『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』『歴史総合, 世界史探 究』『地理総合／歴史総合／公共(2 出題範囲を選択)』『公共, 倫理』『公 共, 政治・経済』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理 B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・ 経済』『旧倫理, 旧政治・経済』(注4) | 左記6出題科目から1出題 科目選択 旧教育課程履修者は左記 7出題科目から1出題科目 を選択可 | 左記6出題科目から2出題 科目選択(注5) 旧教育課程履修者は左記 7出題科目から最大2出題 科目を選択可 |
| 理科 (注3) | 『物理』『化学』『生物』 | 左記3出題 科目から2 出題科目選 択 | 左記3出題 科目から1 出題科目選 択 (同一科目 名を含む 選択不可) |
| | 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎(2出題範囲を選択)』(注6) | | (同一科目 名を含む 選択不可) |
| 情報 | 『情報Ⅰ』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧情報』 | 必須 | |

(注1) 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』の出題範囲のうち「数学B」及び「数学C」は「数学B」の2項目の内容(数列, 統計的な推測)及び「数学C」の2項目の内容(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

(注2) 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』を選択することができる者は、高等学校又は中等教育学校でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了者に限ります。

(注3) 地理歴史・公民及び理科において指定した出題科目数以上受験した場合は、本学が認めている出題科目の組み合わせのうち、第1解答科目の点数を優先して合否判定に用います。なお、理科の第1解答科目で本学が指定しない出題科目を選択した場合は、第2解答科目で本学が指定した出題科目を選択しても、理科を受験しなかったものとみなします。

(注4) 旧課程履修者に対する措置として「旧」のつく、地理歴史・公民を2出題科目選択する場合同一科目名を含む選択はできません。

(注5) 地理歴史・公民における2出題科目の選択方法は、文部科学省の定めに倣います。

(注6) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』については地学基礎を除いた3出題範囲中2出題範囲を選択解答してください。

(2) 理学療法学科 6出題教科 8出題科目

| 出題教科 | 出題科目 | 出題科目等の選択方法 | |
|-----------------|--|--|---------------------------------|
| 国語 | 『国語』 | 必須 | |
| 数学 | 『数学Ⅰ』『数学Ⅰ，数学A』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ・旧数学A』 | 必須 左記2出題科目から1出題科目を選択 | |
| | 『数学Ⅱ，数学B，数学C』(注1) (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅱ』『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』 | 必須 旧教育課程履修者は左記4出題科目から1出題科目を選択可(注2) | |
| 外国語 | 『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 | 左記5出題科目から1出題科目を選択 (英語はリスニングの成績も判定の対象とします) | |
| 地理歴史・公民 (注3) | 『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共(2出題範囲を選択)』『公共，倫理』『公共，政治・経済』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理，旧政治・経済』 | 左記6出題科目から1出題科目を選択 旧教育課程履修者は左記7出題科目から1出題科目を選択可 | |
| 理科 (注3) | 『物理』『化学』『生物』 | 左記3出題科目から2出題科目を選択 | 左記3出題科目から1出題科目を選択(同一科目名を含む選択不可) |
| | 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎(2出題範囲を選択)』(注4) | | (同一科目名を含む選択不可) |
| 情報 | 『情報Ⅰ』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧情報』 | 必須 | |

(注1) 『数学Ⅱ，数学B，数学C』の出題範囲のうち「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容(数列，統計的な推測)及び「数学C」の2項目の内容(ベクトル，平面上の曲線と複素数平面)のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

(注2) 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』を選択することができる者は、高等学校又は中等教育学校でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了者に限ります。

(注3) 地理歴史・公民及び理科において指定した出題科目数以上受験した場合は、本学が認めている出題科目の組み合わせのうち、第1解答科目を優先して合否判定に用います。

(注4) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』については地学基礎を除いた3出題範囲中2出題範囲を選択解答してください。

(3) 作業療法学科 6出題教科8出題科目

| 出題教科 | 出題科目 | 出題科目等の選択方法 | |
|---------------------|--|--|--|
| 国語 | 『国語』 | 必須 | |
| 数学 | 『数学Ⅰ』『数学Ⅰ，数学A』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ・旧数学A』から 1出題科目を選択 | 必須 左記2出題科目から1出題科目を選択 | |
| | 『数学Ⅱ，数学B，数学C』(注1) (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅱ』『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧 簿記・会計』『旧情報関係基礎』から1出 題科目を選択(注2) | 必須 | |
| 外国語 | 『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国 語』『韓国語』 | 左記5出題科目から1出題科目を選択 (英語はリスニングの成績も判定の対象とします) | |
| 地理歴史・ 公民 (注3) | 『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本 史探究』『歴史総合，世界史探究』『地理 総合／歴史総合／公共(2出題範囲を選 択)』『公共，倫理』『公共，政治・経済』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』 『旧倫理，旧政治・経済』(注4) | 左記6出題科目から1出題科目を選 択 旧教育課程履修者は左記7出題科目 から1出題科目を選択可 | 左記6出題科目か ら2出題科目を選 択(注5) 旧教育課程履修者 は左記7出題科目 から2出題科目を 選択可 |
| 理科 (注3) | 『物理』『化学』『生物』 | 左記3出題科目か ら2出題科目を選 択 | 左記3出題科目か ら1出題科目を選 択 (同一科目名を含 む選択不可) |
| | 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学 基礎(2出題範囲を選択)』 (注7) | | (同一科目名を含 む選択不可) (注8) |
| 情報 | 『情報Ⅰ』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧情報』 | 必須 | |

(注1) 『数学Ⅱ，数学B，数学C』の出題範囲のうち「数学B」及び「数学C」は「数学B」の2項目の内容(数列，統計的な推測)及び「数学C」の2項目の内容(ベクトル，平面上の曲線と複素数平面)のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

(注2) 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』を選択することができる者は、高等学校又は中等教育学校でこれらの出題科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了者に限ります。

(注3) 地理歴史・公民及び理科において指定した出題科目数以上受験した場合は、本学が認めている出題科目の組み合わせのうち、得点の高い出題科目を合否判定に用います。ただし、第1解答科目を優先します。

(注4) 旧課程履修者に対する措置として「旧」のつく、地理歴史・公民を2出題科目選択する場合は同一科目名を含む選択はできません。

(注5) 地理歴史・公民における2出題科目の選択方法は、文部科学省の定めに従います。

(注6) 理科の第1解答科目で本学が指定しない出題科目を選択した場合、第2解答科目で本学が指定した出題科目を選択しても、理科を受験しなかったものとみなします。

(注7) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』については地学基礎を除いた3出題範囲中2出題範囲を選択解答してください。

(注8) 理科の第1解答科目で「基礎を付す理科」を選択した場合は、理科の第1解答科目、理科の第2解答科目(基礎を付さない理科)及び地理歴史・公民の第1解答科目を合否判定に用います。

7 第2次試験の実施教科・科目等

| 日程 | 教科・科目等 | 科目等の選択方法 |
|------|---------------|----------|
| 前期日程 | 面接(個人及び集団)(注) | 必須 |

(注) 面接を受験しなかった者は、合格者にはなりません。

8 教科の配点

(1) 第1段階選抜に用いる大学入学共通テストの教科の配点

ア 看護学科

| 学科 | 国語 | 地理歴史・公民 | 理科 | 数学 | 外国語 | 情報 | 計 | |
|------|-----|---------|-----|-----|-----|------|-----|-------|
| 看護学科 | 200 | 100 | 100 | 100 | 200 | 200※ | 100 | 1,000 |

イ 理学療法学科

| 学科 | 国語 | 地理歴史・公民 | 理科 | 数学 | 外国語 | 情報 | 計 |
|--------|-----|---------|-----|-----|------|-----|-------|
| 理学療法学科 | 200 | 100 | 200 | 200 | 200※ | 100 | 1,000 |

ウ 作業療法学科

| 学科 | 国語 | 地理歴史・公民 | 理科 | 数学 | 外国語 | 情報 | 計 | |
|--------|-----|---------|-----|-----|-----|------|-----|-------|
| 作業療法学科 | 200 | 100 | 100 | 100 | 200 | 200※ | 100 | 1,000 |

※ 英語の場合 リーディング100点+リスニング100点=200点とします。

ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を2倍します。

(2) 第2段階選抜に用いる配点

ア 看護学科

| 日程 | 試験区分 | 国語 | 地理歴史・公民 | 理科 | 数学 | 外国語 | 情報 | 面接 | 計 | 総合点 | |
|------|-----------|-----|---------|----|----|-----|-----|----|---|-----|-------|
| 前期日程 | 大学入学共通テスト | 180 | 90 | 90 | 90 | 180 | 180 | 90 | - | 900 | 1,100 |
| | 第2次試験 | - | - | - | - | - | - | - | - | 200 | |

イ 理学療法学科

| 日程 | 試験区分 | 国語 | 地理歴史・公民 | 理科 | 数学 | 外国語 | 情報 | 面接 | 計 | 総合点 |
|------|-----------|-----|---------|----|-----|-----|----|----|-----|-------|
| 前期日程 | 大学入学共通テスト | 180 | 90 | 90 | 180 | 180 | 90 | - | 900 | 1,100 |
| | 第2次試験 | - | - | - | - | - | - | - | 200 | |

ウ 作業療法学科

| 日程 | 試験区分 | 国語 | 地理歴史・公民 | 理科 | 数学 | 外国語 | 情報 | 面接 | 計 | 総合点 | |
|------|-----------|-----|---------|----|----|-----|-----|----|---|-----|-------|
| 前期日程 | 大学入学共通テスト | 180 | 90 | 90 | 90 | 180 | 180 | 90 | - | 900 | 1,100 |
| | 第2次試験 | - | - | - | - | - | - | - | - | 200 | |

(注) 各学科とも、面接等により医療人となるための適性を欠くと判断された場合は、総合点の成績に関わらず、不合格になる場合があります。

9 第2次試験の実施日等

(1) 日程

| 学部 | 試験日 | 教科等 | 実施時間 |
|--------|--------------|----------------|-----------------------|
| 保健医療学部 | 令和7年2月25日(火) | 面接 (個人及び集団) | 受験票に記載して通知します。 (注) |

(注) 面接は、午前9:00から順番に実施し、集合時間は、8:00～8:40(予定)です。
受験人数等により、変更がある場合がありますので、必ず受験票に記載の時間をご確認ください。
また、試験開始時刻が正午を過ぎる場合がありますので、適宜、軽食をご持参ください。
なお、**受験者個人の試験開始時刻及び終了時刻は未定**です。

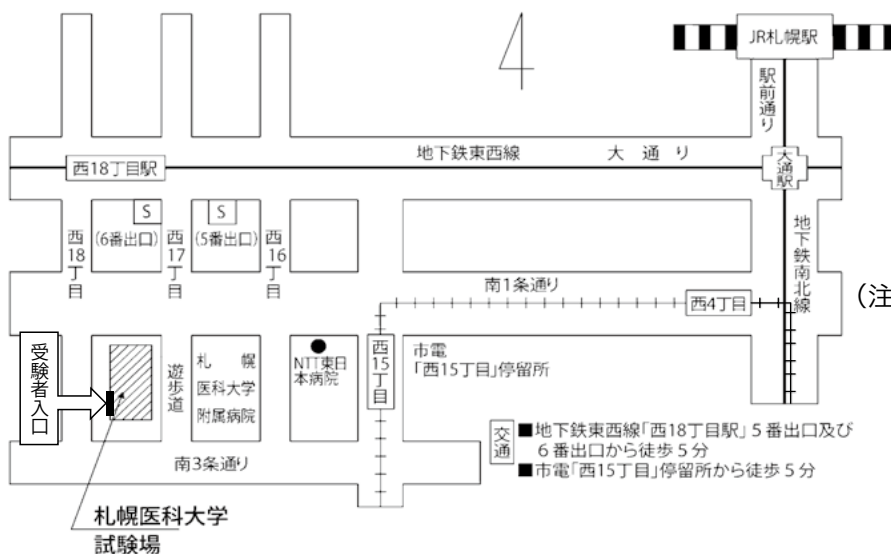
(2) 第2次試験の当日持参する物

- ア 札幌医科大学保健医療学部受験票 **(各自でインターネット出願サイトから印刷して持参してください)**
- イ 大学入学共通テスト受験票
- ※ ア、イは、入学手続の際にも必要となるため、紛失しないように注意してください。
- ウ 黒鉛筆(シャープペンシル可)・消しゴム・鉛筆削り

(3) 試験場

札幌医科大学教育研究棟 札幌市中央区南1条西17丁目
教育研究棟西側より入り指示に従ってください。

- ※ 受験者入口は変更することがありますのでご注意ください。
受験票交付時のお知らせや、当日の案内表示等をご確認ください。



(注) **試験場の下見は玄関前までとし、入場はできません。**

最終頁、札幌医科大学建物配置図も参照してください。

10 学校推薦型選抜及び総合型選抜合格者の取扱い

本学の学校推薦型選抜並びに他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び総合型選抜の合格者は、本学の第2次試験を受験しても合格者となることはできません。

IV 身体等に障がいのある入学志願者との事前相談（医学部・保健医療学部共通）

1 身体等に障がいのある入学志願者との事前相談

本学への入学志願者で、次表に該当する場合（学校教育法施行令第22条の3に準拠）は、受験上及び修学上の配慮が必要となることがありますので、令和6年12月16日(月)までに必ず本学事務局学務課入試係へ、「身体等に障がいのある入学志願者の受験上の配慮申請書」を提出してください。必要に応じ、本学において、原則入学志願者及び保護者、又はその立場を代弁しうる者等との面談を行います。

申請書様式掲載場所：<https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/10re830000000eh.html>

問い合わせ先：札幌医科大学事務局学務課入試係 電話011-611-2111(内線21830・21840)



- | | |
|---|---|
| ア | 両眼の矯正視力が0.3未満の者又は視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 |
| イ | 両耳の聴力レベルが60デシベル以上の者のうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度の者 |
| ウ | 肢体(上肢・体幹・下肢)不自由の状態により、立位もしくは座位の保持又は歩行することが不可能又は困難な者 |
| エ | 肢体(上肢・体幹・下肢)不自由の状態により、筆記又は実験・実習をすることが不可能又は困難な者 |
| オ | 慢性の呼吸器、心臓、腎臓疾患等の状態が継続して医療・生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者 |
| カ | 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度の者 |
| キ | 上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とする程度の機能障害を有する者 |

※1 申請内容を確認のうえ、試験の公平性を確保できる範囲で配慮可能な方法を検討します。


内容によっては、受験上の配慮が十分に提供できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

※2 申請期限後、怪我等により急遽特別な配慮を要する事由が生じた場合は、直ちに上記問い合わせ先までご連絡ください。

※3 申請後に本学へ出願しないこととなった場合、または、出願後に受験を取り止めた場合には、その旨速やかにご連絡ください。

V 合格者の発表等（医学部・保健医療学部共通）

1 合格者の発表 両学部共通

| 受験区分 | 発表日時 | 掲示方法等 |
|--------|---------------------------|---|
| 第1段階選抜 | 令和7年2月12日(水) 午前10時(予定) | 本学ホームページ https://web.sapmed.ac.jp/ 大学情報センターのホームページ https://daigakujc.jp/sapmed/  |
| 第2段階選抜 | 令和7年3月10日(月) 午前10時(予定) | に掲載します。(ホームページへの掲載は、午前10時以降となります。) 大学構内への掲示は行いません。 合格通知書の郵送は行いません。インターネット出願サイトからダウンロードのうえ印刷してください。 |

ア 第1段階選抜を実施した場合の結果は、合格者の大学入学共通テストの試験場コード及び受験番号を発表するとともに、インターネット出願サイトから合格者に通知します。なお、第2次試験を受験できる者には、**受験票をインターネット出願サイトから交付することで第1段階選抜の合格通知に代えます。**

イ 第2段階選抜の結果は、合格者の受験番号を発表するとともに、合格者本人には入学手続きに必要な書類を送付します。**本人あてに合格通知書は郵送しません。必要な方は、下記の入学手続き期間内に、インターネット出願サイトからダウンロードのうえ印刷してください。**

ウ いずれの場合も、可否に関する電話等での問い合わせには、一切応じません。

2 入学手続

(1) 手続期間

令和7年3月10日(月)～令和7年3月15日(土)17時必着

この期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱います。

(2) 書類の提出方法

郵送に限ります。

「簡易書留・速達」郵便により、令和7年3月15日(土)17時まで**に必ず到着するように発送してください。**

なお、手続期間後に到着した書類は、受理しません。また、直接持参しても受理できません。郵便事情を考慮し、余裕を持って発送してください。

(3) 手続に必要な書類等

ア 札幌医科大学医学部受験票又は札幌医科大学保健医療学部受験票

イ 大学入学共通テスト受験票

ウ 入学金 282,000円 (本学電子申請サイトから納入してください。)

※なお、入学金は変更することがあります。

エ 卒業証明書(高等学校又は中等教育学校・他大学等を卒業見込みで受験した者)

オ 退学証明書(他大学等を退学見込みで受験した者)

カ 在留カードの表裏両面のコピー、又は外国人登録証明書の表裏両面のコピー(日本国籍を有しない者)

キ その他、入金方法を含めた入学手続の詳細については、合格者にのみ別途お知らせします。

※ 入学許可書の郵送は行いません。必要な方は本学電子申請サイトからダウンロードのうえ印刷してください。

3 入学手続後の変更

ア 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入學手続を行うことはできません。また、他の国公立大学・学部に入學手続を行った者は、本学に入學手続を行うことはできません。

イ **いったん納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。**

ウ 入学手続完了者で特別の事情により入学できなくなった者は、速やかに「事務局学務課入試係」に連絡をしてください。

4 合格者の追加

ア 合格者の発表後、募集定員に欠員が生じた場合は、**令和7年3月28日(金)から令和7年3月31日(月)までの期間**に、合格者の追加を行う場合があります。

イ 上記の場合、該当者に対して入学願書の「入学手続書類等送付先欄」の連絡先に電話し、本人の入学意思を確認しますので、上記の期間も含め、連絡の取れる電話番号を必ず記入してください。

ウ 該当する者が不在等のため、**連絡・確認が出来なかった場合は、入学の意思がないものとして取り扱うことがあります**ので、この期間に外出する場合は、家族など在宅者に連絡先を明らかにしておいてください。

5 インターネットによる情報提供

| | | |
|----------|---|--------------|
| 出願状況 | 令和7年1月29日(水)～令和7年2月24日(月) 土・日は情報を更新しません。 | |
| 合格者の受験番号 | 第1段階選抜 | 第2段階選抜 |
| | 令和7年2月12日(水) | 令和7年3月10日(月) |

| 区分 | アドレス | 出願状況 | 合格者の受験番号 | |
|--------------------|--|------|----------|--------|
| | | | 第1段階選抜 | 第2段階選抜 |
| 札幌医科大学 ホームページ | https://web.sapmed.ac.jp/ | ○ | ○ | ○ |
| 大学情報センター ホームページ | https://daigakujc.jp/sapmed/  | ○ | ○ | ○ |

6 入試成績の開示

| | |
|------------------|---|
| 開示方法 | 開示場所での閲覧 |
| 開示内容 | ア 大学入学共通テストの教科・科目別得点 イ 本学入学者選抜試験の科目別得点 ウ 本学入学者選抜試験の総合得点を合格最低点から5%きざみでランク表示したもの エ 総合得点の順位を5番きざみでランク表示したもの |
| 請求できる者 | 受験者本人 |
| 持参する物 | ア 札幌医科大学医学部受験票又は札幌医科大学保健医療学部受験票 イ 大学入学共通テスト受験票 |
| 開示期間 | 令和7年4月16日(水)～令和7年5月15日(木) (土・日・祝日を除きます。) 9:00～11:30 / 13:30～17:00 |
| 開示場所及び 問い合わせ先 | 札幌医科大学事務局学務課入試係 電話011-611-2111(内線21830・21840) |

※開示期間に開示場所に来ることができない場合は、上記問い合わせ先までご連絡ください。

7 個人情報の取扱い

- ア 国公立大学の合格者決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報が、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- イ 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守すると共に「個人情報の保護に関する法律の施行に関する北海道公立大学法人札幌医科大学規則」に基づき管理します。
- ウ 入学志願者から得られた出願書類に記載されている個人情報については、本学の入学者選抜及び入学手続等の諸業務、入学者選抜方法等の調査研究・改善を行うために利用します。
- エ 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査研究・改善を行うために利用します。
- オ 入学者についてのみ、出願書類に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績の個人情報について、本学の学籍管理、学習指導、キャリア支援、学生支援関係業務（授業料免除・修学資金申請等）及び授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- カ 調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

8 受験に当たっての留意事項

ア 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、その教科・科目等の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ① 出願書類・解答用紙へ故意に虚偽の記入（入学願書や受験票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入することなど。）をすること。
- ② カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり、見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 「解答はじめ。」の指示の前に問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑦ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチを含むウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること（試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、本要項(p.23)第1のキに従い事前相談してください）。
- ⑨ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。

イ 上記ア以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、アと同様です。

- ① 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチを含むウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に着けていたり、手に持っていること。
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

9 その他の留意事項

ア **天候、事故、その他の事情により交通機関が乱れることがありますので、時間には十分に余裕を持ち、遠隔地の受験者は早めに受験地に到着する等、ご注意ください。**

イ 試験場には駐車場はありませんので、必ず公共交通機関等をご利用ください。

ウ 試験当日は、午前8時から会場に入ることができます。

エ 保護者の控室は用意しておりません。

オ 試験室の下見はできません。

カ 試験場の建物及び本学敷地内は、全面禁煙です。

キ 受験者への宿泊施設の斡旋は行っておりません。

ク 受験票に記載の「受験上の注意」をよくお読みください。

10 修学のための費用

(1) 入学初年度は、次の費用を必要とします。

- ・ 入学料 282,000円
- ・ 授業料 535,800円(年額：4月と10月の2期に分納)
- ※ なお、上記の納付金は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。
- ・ 教科書等 両学部 約80,000～100,000円
- ※ 金額は、毎年度異なります。

(2) その他の費用

- ・ 共用試験（Pre-CC OSCE、CBT）受験料（医学部4年生） 33,000円
- ・ 共用試験（Post-CC OSCE）受験料（医学部6年生） 20,000円
- ※ 金額は変更になる場合があります。
- ※ 再試験受験の場合、別途同額を必要とします。
- ・ その他、実習で大学の外にある施設に配置された場合の宿泊費や交通費等の諸経費は、原則として自己負担になります。

11 札幌医科大学後援会について

「札幌医科大学後援会」は、本学の教育事業を後援し、その発展に協力することを目的とし、学生の福利厚生及び課外活動への支援等、平等かつ公平な事業内容に心がけ、次の事業を行っています。

なお、入学者の保護者の皆様には、特段の事情がある場合を除き、本会にご加入いただいています。

| | | |
|----|--------|----------|
| 会費 | 医学部 | 200,000円 |
| | 保健医療学部 | 100,000円 |

※ 原則として一括納入

事業内容

- ア 医学及び保健医療学専門書や国家試験関係図書を附属総合情報センター(図書館)に寄贈しています。
- イ 学生生活及び実習における事故や傷害等を補償する保険の保険料を助成しています。
- ウ 学生の海外派遣(語学研修・臨床研修)経費を助成しています。
- エ 学生の学外実習に要する経費及び必要な予防接種費等を助成しています。
- オ 国家試験の対策に係る経費を助成しています。
- カ 大学祭等各種行事及びサークル活動に要する経費を助成しています。
- キ その他、本会の目的達成上必要と認める事業を行っています。

12 その他特記事項

- ・ 試験実施内容等を変更することがありますので、本学ホームページ等、本学からの発表にご注意ください。
- ・ その他受験に際しての留意事項等は、本学ホームページや受験案内等でお知らせしますので必ずご確認ください。

札幌医科大学ホームページ 入試情報

<https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/>

受験情報

<https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/10re8300000005oi.html>



入学者選抜の変更等のお知らせ

<https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/eh6jpf00000005ab.html>



札幌医科大学 インターネット出願ガイド

詳しい説明は、本学Webサイト(<https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/10re8300000000g8.html>)に掲載の「インターネット出願マニュアル」を参照してください。



1 インターネット出願登録開始日時、出願期間

| | インターネット出願 登録開始日時 | 入学検定料 入金開始日時 | 出願受付期間 (出願書類の郵送提出期間) |
|--------------------|---------------------|-----------------|---------------------------------|
| 保健医療学部 学校推薦型選抜※ | 令和6年10月25日(金) 10時 | | 令和6年11月1日(金) ～11月7日(木) 17時 |
| 医学部 学校推薦型選抜 | 令和6年11月11日(月) 10時 | | 令和6年11月18日(月) ～11月22日(金) 17時 |
| 両学部 一般選抜※ | 令和7年1月20日(月) 10時 | | 令和7年1月27日(月) ～2月5日(水) 17時 |

※ システムメンテナンスのため、次の期間はインターネット出願サイトが停止します。

システム停止期間中は、インターネット出願サイトへのアクセスが出来ないため、出願登録、サイトからの入学検定料の支払いが出来ませんのでご注意ください。

【システム停止期間】(終了時刻は作業状況により前後することがあります。)

- ・令和6年10月29日(火) 18時～翌30日(水) 6時
- ・令和7年 1月29日(水) 18時～翌30日(木) 6時

2 事前準備

パソコン等の動作環境

- ・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。ご自宅にパソコン等がない場合は、学校や図書館のパソコン等から出願してください。いずれも難しい場合は、本学までご相談ください。011-611-2111(内線21830、21840)

印刷環境

- ・出願に必要な書類等のうち、願書及び宛名ラベルは、インターネット出願サイトから、A4サイズ用の紙に片面カラー印刷します。ご自宅にプリンターがない場合は、学校、コンビニエンスストア等で印刷してください。

メール設定

- ・出願登録時等にお知らせメールを送信します。メール受信設定で、ドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがありますので、メールの受信制限をされている方は、「no-reply-shinsei@sapmed.ac.jp」からのメールを受信できるように設定してください(@は半角文字に変換して設定してください)

顔写真データの準備

- 出願登録時にアップロードする顔写真データを用意してください。
- 写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身(胸から上)、脱帽、背景無地、正面向きのカラー写真(縦横比4:3)の10MB以内JPEGファイルとしてください。
- 個人の特が困難な画像(不鮮明、加工が施してある等)は使用できません。
- 写真画像ファイル名は「志願者氏名」〔例：札幌医科大学花子〕としてください。



出願に必要な書類

- 選抜区分により必要な提出書類は異なります。各募集要項にて必要な出願書類を確認のうえ、出願受付期間内に間に合うよう予めご用意ください。
- 医学部 学校推薦型選抜：募集要項6頁～
- 医学部 一般選抜：募集要項8頁～
- 保健医療学部 学校推薦型選抜：募集要項4頁～
- 保健医療学部 一般選抜：募集要項16頁～

インターネット出願の流れ



Step 1 インターネット出願サイトに登録

・本学Webサイトにアクセス

<https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/10re830000000g8.html>から、出願登録開始日時以降に、出願する学部インターネット出願サイトにアクセスしてください。なお、支払い方法により登録するサイトが異なりますので、希望する支払い方法のサイトからアクセスしてください。

・新規利用者登録

手続きする選抜区分及び支払い方法のサイトから、新規利用者登録をしてください。（利用者登録は本年度中有効です。学校推薦型選抜に出願した者が、一般選抜に出願する場合は、利用者登録せずに、当初登録したID、パスワードで出願登録可能です。）

- ・利用者の氏名、メールアドレス等の情報を入力して登録してください。
- ・登録したメールアドレスにID、パスワード登録のメールが届きます。

・出願登録

手続きする選抜区分及び支払い方法のサイトから、受領したID、パスワードを入力してログインし、画面の指示に従い志願者情報を入力してください。

- ・氏名や性別は戸籍上の情報を登録してください。ただし、旧字体など表示できない文字は、新字体で登録してください。
- ・用意した顔写真データを登録してください。
- ・登録内容に不備がある場合は受理しません。

Step 2 入学検定料の支払い

- ・インターネット出願サイトの指示に従って、次の3つのいずれかの方法で、入学検定料をお支払いください。全ての支払い方法で、入学検定料のほかに、事務手数料が必要となります。

※一度納入した入学検定料は原則返金しません。

・クレジットカード払い

クレジットカード払いを選択し、カード情報等を入力してください。

対象：VISA、MASTER、JCB、Diners、AMEX

※支払い方法は一括払いのみです

・PayPay払い

PayPay払いを選択してください。PayPayサイトで二次元コードが表示されるので、PayPayアプリを起動し二次元コードを読み取り支払ってください。

・コンビニエンスストア払い

コンビニエンスストア払いを選択してください。希望するコンビニを選択し、受付番号等必要な情報を控え、コンビニのレジで支払ってください。

対象：セブンイレブン、ローソン・ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、セイコーマート

※お支払いになるコンビニによって操作方法が異なります。

※ 出願受付期間内に入学検定料のお支払いがない場合は、出願を受理しません。

Step 3 書類の印刷・郵送

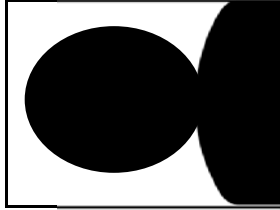
- 登録内容を確認のうえ送信してください。
- 申請受付のメールが自動送信されましたら、受信メールからインターネット出願サイトにアクセスし、入学願書をダウンロードし、A4サイズの内紙にカラー印刷してください。
- 併せて宛名ラベルを印刷してください。
- 印刷した願書に必要事項が間違いなく記載されているか再度ご確認ください。
- 登録内容に誤りがあった場合は、申請を取下げし、正しい情報を再度登録、申請のうえ、改めて入学願書を印刷してください。再度申請と申請取下げは必ず同日中に行い、2重登録はしないでください。
なお、検定料の支払い後は、志願者側から申請取下げの操作ができませんので、その場合は、必ず学務課入試係までご連絡ください。電話011-611-2111(内線21830、21840)
- 印刷した宛名ラベルに必要事項を明記のうえ、市販の角2封筒に宛名ラベルを貼り、入学検定料支払後に、出願に必要な書類一式を**簡易書留・速達**で郵送してください。
- 必要書類は選抜区分ごとに異なりますので、必ず募集要項で確認してください。

Step 4 受験票の受領・印刷

- 本学において、出願受付が完了（入学検定料の納入及び出願に必要な書類一式の提出を確認）したら、受験票発行のメールを送信します。
- 受信したメールからインターネット出願サイトにログインして受験票をダウンロードし、A4サイズの用紙にカラー印刷してください。
- 印刷した受験票は**受験当日必ず持参**してください。

入学願書 (前日程) 枠※

※枠の表示は医学部のみ



| | | | |
|-----------------|---|---------|-----------|
| 受験番号 | この欄に 令和7年度入学共通テスト成績請求票 前 国公立前日程用 をのりで貼ってください。 | | |
| 志望学科名 | 〇〇学科 | | |
| フリガナ | サツイダイ タロウ | | |
| 志願者氏名 | 札幌大 太郎 | | |
| 生年月日 | 2005年 | 4月 1日 | |
| 年齢 | 20歳 | | |
| 性別 | 男 | | |
| 出願資格 | 2022年 | 3月 卒業区分 | 卒業 |
| | 高等学校コード | 01234 A | |
| 高等学校名等 | 北海道立札幌高等学校 | | |
| 保護者フリガナ | サツイダイ イチロウ | | |
| 保護者氏名 | 札幌大 一郎 | | |
| 大学入学共通テスト成績請求番号 | 111000 | - | 0000A - 1 |
| 検定料入金確認 | クレジットカード払い | | |

| | |
|---------------------------|---|
| 郵便番号 | 060-8543 |
| 現住所 | 北海道札幌市中央区 南1条西16丁目291番地 s ap med 西16丁目アパート501号室 |
| 電話番号 上段：自宅 下段：携帯 | 011-688-9474 080-1234-5678 |
| 保護者郵便番号 | 060-8556 |
| 保護者住所 | 北海道札幌市中央区 南1条西11丁目 s ap med マンション101号室 |
| 保護者電話番号 上段：自宅 下段：携帯 | 011-611-2111 090-1234-5678 |

| | |
|-----|--|
| 備考1 | |
| 備考2 | |
| 備考3 | |
| 備考4 | |
| 備考5 | |

| 高等学校卒業等の後の経歴 | | | |
|--------------|----|-----------|----|
| 2022年 | 3月 | 札幌高等学校 | 卒業 |
| 2022年 | 4月 | 札幌ゼミナール入学 | |
| 2023年 | 3月 | 札幌ゼミナール卒業 | |
| 2023年 | 4月 | 自宅学習 | |
| 2024年 | 4月 | 自宅学習現在に至る | |
| 年 | 月 | | |
| 年 | 月 | | |
| 年 | 月 | | |
| 年 | 月 | | |
| 年 | 月 | | |

入学手続書類等送付先

| | |
|------------------------|----------|
| 変更有無 | 志願者住所と同じ |
| 郵便番号 | |
| 住所 | |
| 電話番号 上段：自宅 下段：携帯 | |

令和7年度
医学部一般選抜 先進研修連携枠(ATOP-M)

受験番号

※

確 約 書

札幌医科大学長 様

令和 年 月 日

現 住 所 _____

志願者氏名 (自署) _____ ⑩

生 年 月 日 平成 年 月 日

私は、貴大学医学部医学科 一般選抜（先進研修連携枠(ATOP-M)）の趣旨を理解した上で入学を希望し、入学を許可された後は、卒業後、札幌医科大学附属病院を含む臨床研修指定医療機関で、初期臨床研修修了後、札幌医科大学医学部又は附属病院の各診療科に所属し、7年間、札幌医科大学及び本学の卒後の必修プログラムに関連する国内外の医療機関又は研究機関において医学・医療に従事し、北海道の医学・医療において指導的・中核的役割をになえる医師の育成を目指した所定のプログラムを受けることを確約します。

なお、これに伴い、貴大学が卒業後から所定のプログラム修了までの間、私の勤務先（病院等）を把握することを承諾します。

令和 年 月 日

現 住 所 _____

保護者等氏名 (自署) _____ ⑩

生 年 月 日 昭和・平成 年 月 日

上記の確約を行う事を承諾するとともに、確約を堅く遵守させます。

13 (予告) 令和8年度 札幌医科大学医学部入学者選抜について

本学では、令和7年度に実施する令和8年度札幌医科大学医学部入学者選抜について、先の予告のとおり、学校推薦型選抜「先進研修連携枠(ATOP-M)」(以下「ATOP-M」という。)を廃止します。また、入学者選抜方法に総合型選抜を導入するとともに一般選抜「ATOP-M」を廃止し、「札幌医科大学卒業後研修枠」とします。

変更内容は次のとおり予定していますので、お知らせいたします。

なお、今後の状況により、変更する場合があります。変更がある場合は、ホームページ等で公表します。

I 募集人員

【変更前】

| 学部・学科 | | 合計 | 一般選抜(前期日程) | | 学校推薦型選抜 | |
|-------|-----|-----|------------|-----------------|-----------------|-----|
| | | | 一般枠 | 先進研修連携枠(ATOP-M) | 先進研修連携枠(ATOP-M) | 特別枠 |
| 医学部 | 医学科 | 110 | 20 | 55 | 20 | 15 |

【変更後】

| 学部・学科 | | 合計 | 一般選抜(前期日程) | | 総合型選抜 | 学校推薦型選抜 |
|-------|-----|-----|------------|-----------|-------|---------|
| | | | 一般枠 | 札幌大卒業後研修枠 | 道民枠 | 特別枠 |
| 医学部 | 医学科 | 110 | 20 | 55 | 20 | 15 |

II 日程

| | 一般選抜 | 変更前 | 変更後 | |
|--------|------|-----------|-------|---------|
| | | 学校推薦型選抜 | 総合型選抜 | 学校推薦型選抜 |
| 出願受付 | 変更なし | 1月下旬～2月上旬 | 10月上旬 | 11月上旬 |
| 本学試験日程 | | 2月上旬 | 11月下旬 | |
| 合格発表 | | 2月中旬 | 2月中旬 | |

III 入学者の選抜方法

1 一般選抜

原則変更なし(「先進研修連携枠(ATOP-M)」を「札幌大卒業後研修枠」に置き換えてください)。

2 総合型選抜

(1) 出願資格・出願方法等

| | |
|------|--|
| 出願資格 | <p>北海道内に所在する高等学校又は中等教育学校を令和7年3月以降卒業又は令和8年3月卒業見込みの者のうち、最終学年を含む3年以上継続して北海道内に在住する者(ただし、既卒者にあつては出願時の住所が北海道内・北海道外を問わない)で、次のすべての要件に該当し、卒業又は卒業見込みの者</p> <p>ア 高等学校又は中等教育学校における調査書の成績が、全体の学習成績概評でA段階に属する者で、人物、学力ともに優秀であり、将来、医学の分野において社会に貢献する意欲のある者</p> <p>イ 大学入学共通テストにおいて、本学が指定した出題教科・科目をすべて受験する者</p> |
|------|--|

| | |
|-------|---|
| 出願資格 | <p>ウ 医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修を修了後、所定のプログラム（卒後の必修プログラム）に従事することを確約できる者（所定のプログラムは詳細版で確認してください）</p> <p>エ 合格した際に入学できる者</p> |
| 出願方法等 | <p>ア 総合型選抜（道民枠）と学校推薦型選抜（特別枠）との併願はできません。どちらか一方への専願となります。</p> <p>イ 他の国公立大学の総合型選抜及び学校推薦型選抜との併願は認めません。</p> <p>ウ 総合型選抜の出願者は、本学の総合型選抜に不合格であった場合に備えて、本学又は他の国公立大学の一般選抜に出願することができます。</p> <p>なお、本学の一般選抜に出願する場合は、総合型選抜の出願とは別に願書を出願しなければなりません。</p> <p>エ 入学しない場合は、志願者に理由書の提出を求めます。</p> |

(2) 出願書類

| 出願書類等 | 摘要 |
|--------------------|---|
| ア 入学願書 | 規定様式で提出 |
| イ 入学検定料 17,000円 | 変更なし |
| ウ 調査書等 | 変更なし |
| エ 自己推薦書 | 課題型（課題については、当該年度の学生募集要項で公表します） |
| オ 活動報告書 | 高校生活等の学業や課外活動若しくは校外活動で達成できたこと、自信を持って言えることなどを記載してください。 |
| カ 確約書 | 内容は詳細版で確認してください。 |
| キ 住民票等 | 最終学年を含む3年以上継続して道内に在住していることが確認できる書類 |

(3) 入学者の選抜方法

| 区分 | 選抜方法 |
|--------|--|
| 第1段階選抜 | 志願者数が、募集人員を大幅に上回る場合には、出願書類の内容に基づいて第1段階選抜を行うことがあります。この場合は、第1段階選抜合格者にのみ第2段階選抜を行います。 |
| 第2段階選抜 | <p>第1次試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小作文（ミニ講義による） ・自己推薦書 ・個人面接 ・集団面接 <p>※調査書、活動報告書は面接の際の資料とします</p> |
| | <p>第2次試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テスト <p>※出題教科・科目等及び配点内訳は、本学Webサイトに掲載の詳細版で確認してください</p> |

3 学校推薦型選抜

(1) 出願資格・出願方法等

| | |
|-------|---|
| 出願資格 | <p>北海道内に所在する高等学校又は中等教育学校を令和7年3月以降卒業又は令和8年3月卒業見込みの者のうち、最終学年を含む3年以上継続して北海道内に在住する者（ただし、既卒者にあつては出願時の住所が北海道内・北海道外を問わない）で、次のすべての要件に該当し、卒業又は卒業見込みの高等学校又は中等教育学校の学校長が推薦する者</p> <p>なお、学校長が推薦できる人数は1つの高等学校又は中等教育学校につき3名以内とし、<u>本学の総合型選抜（道民枠）と重複して出願することはできません。</u></p> <p>ア 高等学校又は中等教育学校における調査書の成績が、全体の学習成績概評でA段階に属する者で、人物、学力ともに優秀であり、将来、医学の分野において社会に貢献する意欲のある者</p> <p>イ 大学入学共通テストにおいて、本学が指定した出題教科・科目をすべて受験する者</p> <p>ウ 本学を卒業後、北海道内の医療機関に9年以上勤務し、かつ、当該勤務期間のうち北海道医師養成確保修学資金貸付条例の規定に基づく5年以上の期間を北海道知事が指定する公的医療機関等で勤務することを確約するとともに、修学資金制度の内容を承知している者</p> <p>エ 合格した際に入学できる者</p> |
| 出願方法等 | <p><u>ア 総合型選抜（道民枠）と学校推薦型選抜（特別枠）との併願はできません。どちらか一方への専願となります。</u></p> <p>イ 国公立大学・学部への学校推薦型選抜の出願は、1つの大学・学部等に限定されています</p> <p><u>ウ 他の国公立大学の総合型選抜との併願は認めません。</u></p> <p>エ 学校推薦型選抜の出願者は、本学の学校推薦型選抜に不合格であった場合に備えて、本学又は他の国公立大学の一般選抜に出願することができます。</p> <p>なお、本学の一般選抜に出願する場合は、学校推薦型選抜の出願とは別に出願しなければなりません。</p> <p><u>オ 入学しない場合は、学校に理由書の提出を求めます。</u></p> |

(2) 出願書類

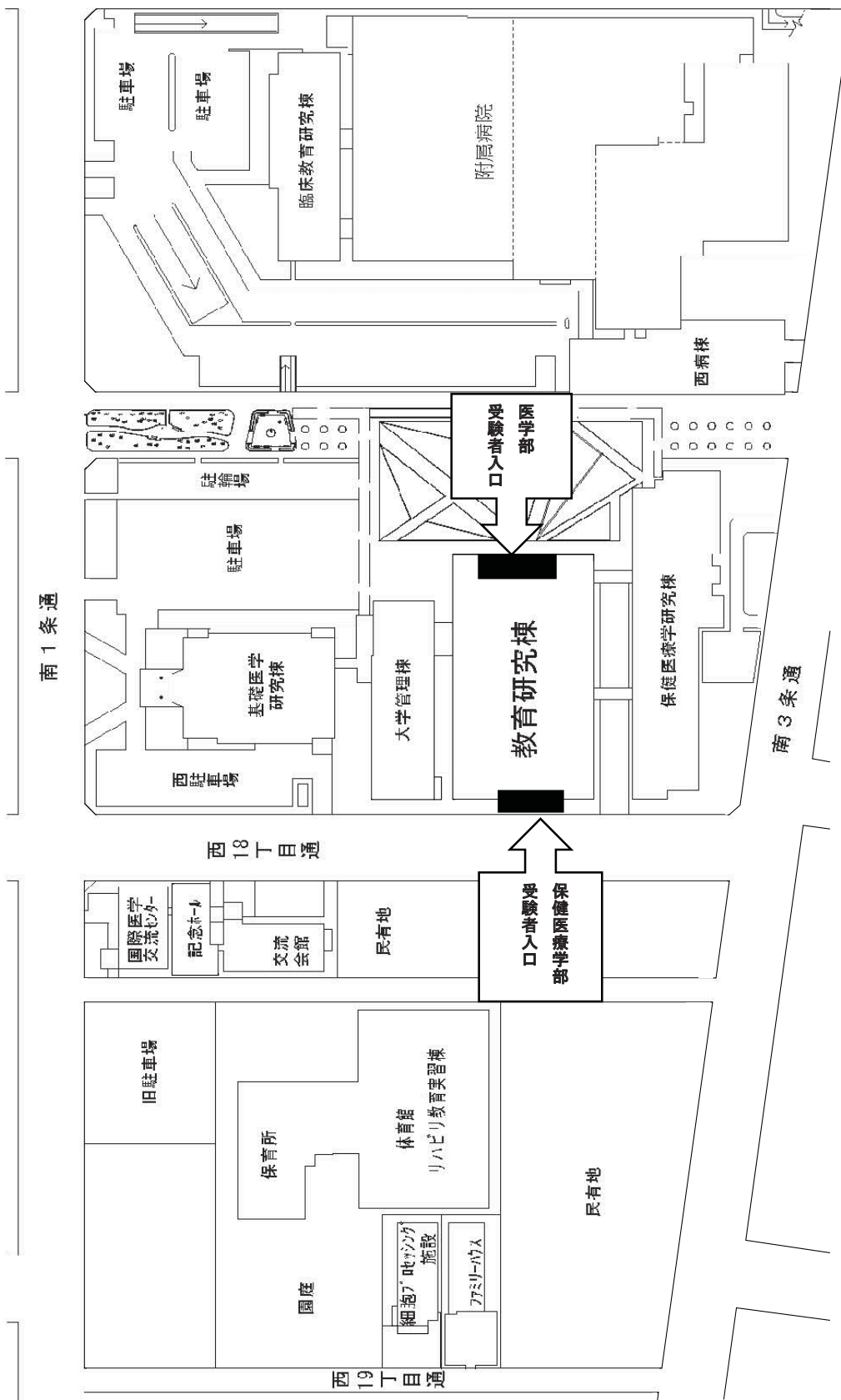
| 出願書類等 | 摘 要 |
|--------------------|---|
| ア 入学願書 | 変更なし |
| イ 入学検定料 17,000円 | 変更なし |
| ウ 調査書等 | 変更なし |
| エ 推薦書・推薦理由書 | 変更なし |
| オ 自己推薦書 | 変更なし |
| カ 活動報告書 | 高校生活等の学業や課外活動若しくは校外活動で達成できたこと、自信を持って言えることなどを記載してください。 |
| キ 確約書 | 変更なし |
| ク 住民票等 | 変更なし |

(3) 入学者の選抜方法

| 区 分 | 選抜方法 | |
|--------|---|---|
| 第1段階選抜 | 志願者数が、募集人員を大幅に上回る場合には、出願書類の内容に基づいて第1段階選抜を行うことがあります。この場合は、第1段階選抜合格者にのみ第2段階選抜を行います。 | |
| 第2段階選抜 | 第1次試験 | <ul style="list-style-type: none"> ・小作文（ミニ講義による） ・自己推薦書 ・個人面接 ※調査書、活動報告書は面接の際の資料とします |
| | 第2次試験 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テスト ※出題教科・科目等及び配点内訳は、本学 Web サイトに掲載の詳細版で確認してください |

札幌医科大学建物配置図

図 16 丁目通



※ 受験者入口は変更することがありますのでご注意ください。
 受験票交付時のお知らせや、当日の案内表示等をご確認ください。





問い合わせ先

〒060-8556

札幌市中央区南1条西17丁目

札幌医科大学事務局学務課入試係

電話011-611-2111（内線21830・21840）

* 8:45～17:30（土・日・祝日を除く。）

* 問い合わせは、やむを得ない場合を除き入学志願者本人が行ってください。